

令和2年度決算概要報告

◆法人全体

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	R2決算	R2当初予算	予算差引 (①-②)	R1決算	前年度差引 (①-④)	
経常費用合計※	79,971	79,881	89	77,246	2,725	
経常収益合計※	82,840	79,649	3,190	76,861	5,978	
経常利益	2,868	▲232	3,101	▲384	3,252	
臨時損失	135	-	135	151	▲16	
臨時利益	29	-	29	9	19	
当期純利益	2,762	▲232	2,995	▲525	3,288	
目的積立金取崩額	389	232	156	331	57	
当期総利益	3,151	-	3,151	▲194	3,346	
経常損益+目的積立金取崩額	3,257	-	3,257	▲52	3,310	
経常収支比率※	103.6%	99.7%	3.9%	99.5%	4.1%	※経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

※経常費用及び経常収益の合計は、内部取引を相殺して表示しているため、各セグメントの合計と一致しません。

◆大学

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	R2決算	R2当初予算	予算差引 (①-②)	R1決算	前年度差引 (①-④)	
教育経費	1,597	1,601	▲3	1,546	50	基幹ネットワークシステム更新等(+67)、修学支援新制度創設による授業料減免の増(+38)、特別災害支援制度創設(+18)、光熱水費の減(▲53)
研究経費	3,493	3,426	66	3,304	188	大型AMED補助金受入に伴う支出増(+460)、奨学寄附金受入額減等による支出の減(▲136)受託研究費資産取得増に伴う支出減(▲96)、光熱水費の減(▲40)
人件費合計	7,769	7,819	▲49	7,727	42	
役員人件費	43	45	▲2	42	1	
教員人件費	5,305	5,372	▲66	5,265	39	常勤教員: +68(4,899→4,967) 非常勤教員: ▲28(367→339)
セグメント人件費振替額	66	63	2	69	▲2	
職員人件費	2,016	2,019	▲3	1,975	40	常勤職員: +44(1,676→1,720) 非常勤職員: ▲4(300→297)
退職給付引当金繰入	337	317	20	374	▲36	数理計算上の差異取崩し額の減(▲43)、退職給付繰入額の増(+6)
一般管理費等	977	935	41	889	87	勤怠管理システム(+56)、みなどみらいサテライトキャンパス開設(+27) 大学キャンパス損害保険の増(+21)、消費税納付算出額の減(▲17)
減価償却費	939	863	76	805	134	
経常費用合計	14,777	14,646	131	14,273	503	
運営費交付金収益	7,252	7,335	▲82	7,345	▲93	期間進行基準(▲47): 修学支援新制度開始(授業料減免の補助金化)による減等 費用進行基準(▲46): 市在籍期間退職費用の減※不足分は目的積立金を充当
授業料収益等	3,151	3,129	21	3,132	18	授業料+19(27.5億→27.7億) DS学部+62人+大学院DS・HDS+42人、その他▲51人
外部資金合計	3,326	2,952	374	2,698	627	※収益≠受入額 ※収益=費用
受託	1,915	2,069	▲154	1,939	▲24	資産取得の増による収益化額の減
奨学寄附金	447	574	▲127	575	▲128	受入額の減等による収益化額の減
補助金	963	307	655	183	779	大型AMED補助金受入による増(+629)、フェローシップ創設事業の増(+9) 修学支援新制度の開始(授業料減免の補助金化)による増(+138)
資産見返負債戻入	535	535	-	509	26	
雑益等	719	579	139	621	97	寄付金受入額の増(+41)、福浦C損害保険料(+64)、特許技術移転料等の増(+38)、エクステンション講座収入の減(▲11)、各事業の自己収入の減(▲23)
経常収益合計	14,985	14,532	453	14,308	677	
経常利益	208	▲114	322	35	173	
臨時損失	8	-	8	1	7	備品除却損の増(+7)
臨時利益	9	-	9	1	8	除却資産の資産見返戻入の増(+7)
当期純利益	209	▲114	323	35	174	
目的積立金取崩額	276	114	162	118	158	施設整備・ICT整備の費用計上分(+135)、運営交付金(退職金市負担分)不足分(+40)、数理計算上の差異(▲17)
当期総利益	485	-	485	153	332	
経常損益+目的積立金取崩額	485	-	485	153	331	
人件費比率※1	51.8%	53.8%	▲2.0%	54.0%	▲2.2%	
経常収支比率※2	101.4%	99.2%	2.2%	100.2%	1.2%	

※1 大学人件費比率 = 人件費 / 経常収益

※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

このうち146百万円は大型AMED補助金間接経費の執行残によるものであり、執行残相当額は令和3年度に活用するため、実質的な黒字は339百万円

①	②	③	④	⑤		
項 目	R2決算	R2当初予算	予算差引(①-②)	R1決算	前年度差引(①-④)	対前年度増減理由
診療経費	15,839	15,672	166	14,735	1,103	
うち医薬品費	7,103	6,946	157	6,721	382	・単価が高い抗がん剤や難病治療薬の購入額の増加
うち診療材料費	3,702	3,745	▲43	3,590	111	・消耗品費の増加
うち光熱水費	431	517	▲86	480	▲49	・ガス及び電力単価の減少
教育・研究・受託研究・一般管理費等	904	959	▲55	948	▲44	・受託研究経費での支出減(▲75)
人件費	12,952	12,954	▲1	12,673	279	
教員人件費	1,730	1,861	▲131	1,736	▲6	・定期昇給+13 ・人員増減等(助教+3人、講師▲2)+5 ・コロナ関連:コロナ対応手当(+6)、コロナ特殊勤務手当(+7) ・超過勤務時間の縮減、その他諸手当減 ▲25 ・退職金(市負担分)減▲15
セグメント人件費振替額	232	238	▲5	233	▲1	
職員人件費	10,633	10,466	166	10,297	335	・定期昇給+103 ・人員増減等+167 ・コロナ関連:コロナ対応手当(+79)、コロナ特殊勤務手当(+75) ・看護師入退職代謝(▲61)
退職給付引当金繰入	356	387	▲31	404	▲47	
減価償却費	1,440	1,415	24	1,651	▲211	・電子カルテ減価償却終了(▲183)
経常費用合計	31,136	31,002	134	30,008	1,127	
運営費交付金収益	2,623	2,643	▲20	2,621	1	
運営交付金交付額	3,003	3,006	▲2	2,963	40	
資産取得分等(施設設備等)	▲380	▲363	▲17	▲341	▲38	・施設整備費の増に伴う資産取得の増
附属病院収益	26,484	26,715	▲231	25,567	916	
うち入院収益	16,769	16,994	▲225	16,330	438	・入院単価の増加に伴う増(+1,429) ⇒単価の上昇は、DPC入院期間Ⅱ日以内の退院割合の増加や重症系病床の特定入院料の増加などが影響。 ・入院者減少に伴う減(▲1,000) ⇒延べ入院患者数の減少は、COVID-19の感染拡大等による新入院患者数の減少などが影響。 ・外来単価の増加に伴う増(+1,203) ⇒単価の上昇は、外来化学療法実施件数の増加等による注射料の増加や、放射線治療件数の増加等による放射線治療料の増加などが影響。 ・外来患者の減少に伴う減(▲696)
うち外来収益	9,488	9,456	32	8,977	510	
資産見返負債戻入	489	464	24	468	21	
受託研究等収益	570	577	▲6	647	▲76	・受託研究経費での支出減に伴う減(▲76)
補助金等収益	2,676	245	2,431	392	2,283	
うちコロナ関連補助金	2,426	-	2,426	81	2,345	コロナ関連補助金の増
雑益等	287	292	▲5	310	▲22	ペットセンター業務委託の契約変更に伴う手数料の減(▲33)
経常収益合計	33,130	30,938	2,192	30,006	3,123	
経常利益	1,994	▲63	2,058	▲1	1,995	
臨時損失	19	-	19	115	▲96	・令和元年度コロナ手当等の追加支給(+9) ・非常勤医師の勤務実態に基づく給与の追加支給(過年度分)(+4) ・特定共同指導返還金(過年度分)(+6)
臨時利益	7	-	7	-	7	コロナ関連補助金 令和元年度分の収益化(+8)
当期純利益	1,982	▲63	2,046	▲117	2,099	
目的積立金取崩額	40	63	▲23	131	▲90	・運営交付金(退職金市負担分)不足分充当(45→0) ・数理計算上の差異(▲46)
当期総利益	2,022	-	2,022	14	2,008	
経常損益+目的積立金取崩額	2,034	-	2,034	129	1,904	
入院単価	87,215円	80,990円	6,225円	79,743円	7,472円	
入院患者数(のべ数)	191,299人	208,871人	▲17,572人	203,845人	▲12,546人	
新入院患者数	15,851人	17,406人	▲1,555人	16,388人	▲537人	
病床稼働率	80.1%	87.5%	▲7.4%	85.2%	▲5.1%	
平均在院日数	12.1日	12.0日	0.1日	12.4日	▲0.3日	
外来単価	22,252円	20,428円	1,824円	19,422円	2,830円	
外来患者数/1日	1,743人	1,900人	▲157人	1,921人	▲178人	
外来初診患者数/1日	140人	165人	▲25人	155人	▲15人	
手術件数	6,506件	6,800件	▲294件	6,696件	▲190件	
救急車受入台数	3,335件	-件	3,335件	3,667件	▲332件	
医薬材料費比率 ^{※1}	40.8%	40.0%	0.8%	40.3%	0.5%	
人件費比率 ^{※2}	48.9%	48.5%	0.4%	49.6%	▲0.7%	
経常収支比率 ^{※3}	106.4%	99.8%	6.6%	100.0%	6.4%	

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。
 ※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入額+当期医薬材料購入額-翌月(年)繰越額) / 附属病院収益
 (翌月(年)繰越額は前月(年)繰入額と同額と仮定して計算しています。)
 ※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益
 ※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第3期中期計画目標値
 ・平均在院日数 14日
 ・医薬材料費比率:38%
 ・人件費比率:50%

◆センター病院

(単位:百万円)

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	R2決算	R2 当初予算	予算差引 (①-②)	R1決算	前年度差引 (①-④)	
診療経費	17,529	17,090	438	16,572	956	
うち医薬品費	7,959	7,476	483	7,358	600	・高額医薬品の使用量増加
うち診療材料費	4,364	4,101	263	4,155	209	・高額材料を使用する手術件数の増加
うち光熱水費	548	656	▲107	621	▲72	
教育・研究・受託研究・ 一般管理費等	489	596	▲106	489	-	
人件費	14,575	14,990	▲415	14,523	52	
教員人件費	2,600	2,647	▲47	2,564	35	①定期昇給(+15) ②コロナ関連:コロナ対応手当(+16)、コロナ特殊勤務手当(+10)
セグメント人件費 振替額	▲298	▲301	3	▲302	4	
職員人件費	11,863	12,203	▲339	11,768	95	①定期昇給(+99) ②人員増減(▲10人)(▲63) ③超過勤務時間削減(▲119) ④コロナ関連:コロナ対応手当(+113)、コロナ特殊勤務手当(+83)
退職給付引当金 繰入	410	441	▲31	492	▲82	
減価償却費	1,548	1,556	▲8	1,411	136	・リニアック(+55)、ダウインチ2台(+29)の導入による減価償却費の増
経常費用合計	34,141	34,233	▲91	32,996	1,144	
運営費交付金収益	1,950	1,801	149	1,784	166	
運営交付金交付額	2,371	2,323	47	2,231	140	・本館3階手術室増設工事等(+252)による増 ・R1救急棟給湯配管更新工事(その2)等の減(▲77)
資産取得分等 (施設設備等)	▲420	▲522	101	▲446	25	・施設整備費の増に伴う資産取得の増
附属病院収益	30,006	31,547	▲1,541	29,971	35	
うち入院収益	18,891	20,174	▲1,283	19,206	▲314	・入院患者数の減
うち外来収益	10,891	11,009	▲117	10,477	414	・注射料、放射線治療件数等の増加による外来単価の増
資産見返負債戻入	335	313	22	306	29	・本館3階手術室増設工事、コロナ補助金による医療機器整備等による増
受託研究等収益	138	155	▲16	135	3	
補助金収益等	2,141	80	2,060	85	2,055	・コロナ関連補助金の増(+2,052)
うちコロナ関連補助金	2,052	-	2,052	-	2,052	・神奈川県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援金(+2,402)他 ・固定資産取得分(▲886)
雑益等	234	281	▲46	295	▲61	
経常収益合計	34,807	34,178	628	32,579	2,228	
経常利益	666	▲54	720	▲417	1,083	
臨時損失	106	-	106	33	73	・血液照射装置の処分に係る引当金繰入(+91)
臨時利益	11	-	11	7	3	
当期純利益	571	▲54	625	▲443	1,014	
目的積立金取崩額	72	54	17	81	▲9	
当期総利益	643	-	643	▲361	1,005	
経常損益+目的積立金取崩額	738	-	738	▲335	1,074	
入院単価	89,436円	82,379円	7,057円	79,854円	9,582円	
入院患者数(のべ数)	209,905人	243,951人	▲34,046人	239,222人	▲29,317人	
新入院患者数	18,578人	21,030人	▲2,452人	20,252人	▲1,674人	
病床稼働率	83.3%	97.0%	-13.7%	90.0%	-6.7%	
平均在院日数	11.3日	11.5日	▲0.2日	11.8日	▲0.5日	
外来単価	24,539円	22,051円	2,488円	21,582円	2,957円	
外来患者数/1日	1,810人	2,050人	▲240人	2,013人	▲203人	
外来初診患者数/1日	159人	190人	▲31人	183人	▲24人	
手術件数	8,246件	8,800件	▲554件	9,052件	▲806件	
救急車受入台数	4,344件	-	4,344件	4,490件	▲146件	
医薬材料費比率 ^{※2}	41.1%	36.7%	4.4%	38.4%	2.7%	
人件費比率 ^{※3}	48.6%	47.5%	1.1%	48.5%	0.1%	
経常収支比率 ^{※4}	102.0%	99.8%	2.1%	98.7%	3.2%	

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入額 + 当期医薬材料購入額 - 翌月(年)繰越額) / 附属病院収益
(翌月(年)繰越額は前月(年)繰入額と同額と仮定して計算しています。)

※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益

※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第3期中期計画目標値

- ・平均在院日数 12日
- ・医薬材料費比率: 38%
- ・人件費比率: 50%